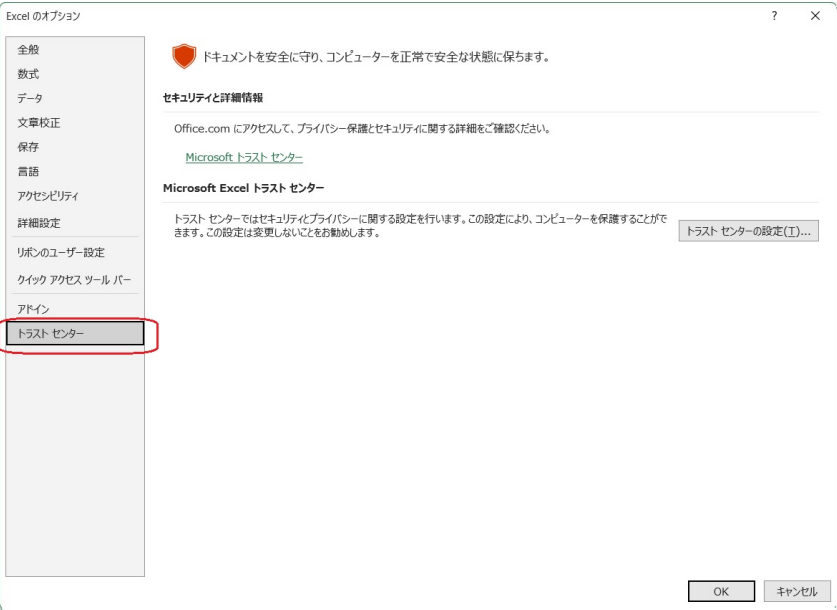
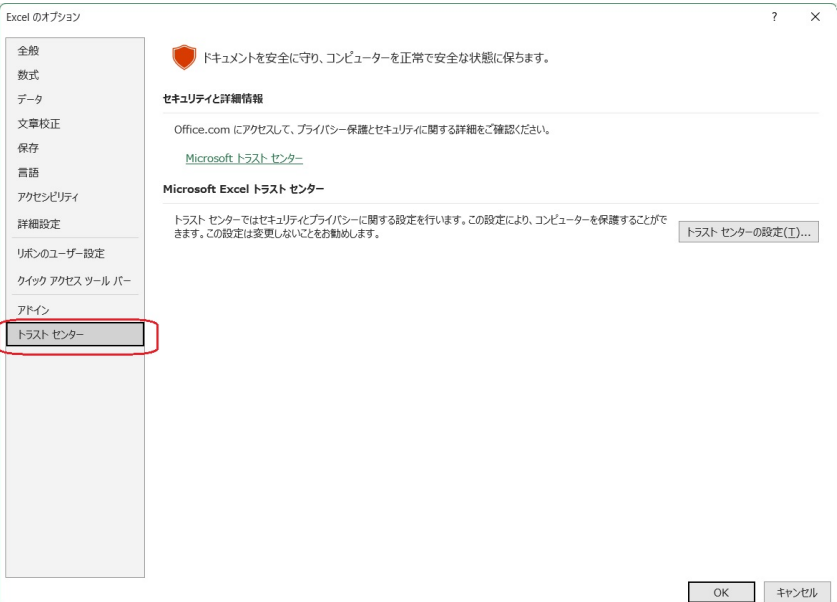


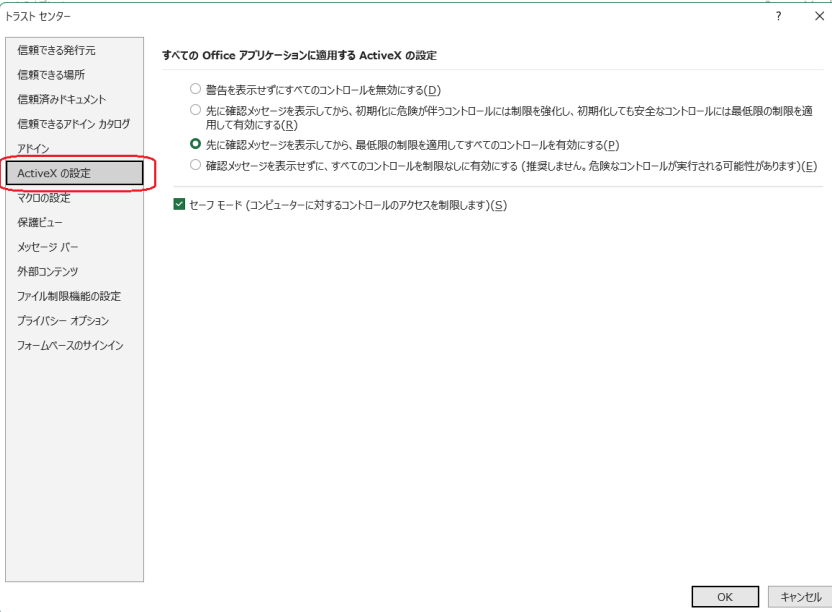

資料 2 : ActiveX コントロールの設定変更方法

ご利用パソコンの Excel バージョンによって設定方法が異なりますので、項 1. または項 2. の設定変更手順にしたがって設定してください。

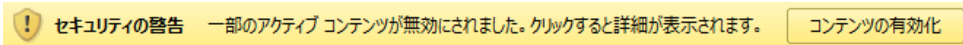
1. 設定変更手順 (その 1)

項番	手順	画面
1	Excel を起動する	
2	「ファイル」を選択する	
3	「その他」から「オプション」を選択する。	

項番	手順	画面
4	「トラストセンター」を選択する。	 <p>The screenshot shows the 'Excel のオプション' (Excel Options) dialog box. The left sidebar contains various categories, with 'トラストセンター' (Trust Center) highlighted by a red rectangle. The main area displays security information and the 'Microsoft Excel トラストセンター' (Microsoft Excel Trust Center) section, which includes a 'トラストセンターの設定(T)...' button.</p>
5	「トラストセンターの設定(T)」ボタンをクリックする。	 <p>The screenshot shows the same 'Excel のオプション' dialog box. In this step, the 'トラストセンターの設定(T)...' button in the main content area is highlighted with a red rectangle.</p>


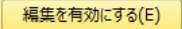
項番	手順	画面
6	「ActiveX の設定」を選択する	
7	「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)」を選択し、「OK」ボタンをクリックする。	
8	Excel を閉じる	<p>開いている全てのエクセルファイルを閉じる。</p> <p>※全てのエクセルファイルを閉じることで変更した設定内容が有効になります。</p>

マクロ・ActiveX コントロールの設定を正しく実施すると、ツール起動時に以下のような警告メッセージが表示される場合があります。



本警告メッセージが表示された場合は、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

インターネット上からダウンロードしてツールを取得した場合も、以下のような警告メッセージが表示される場合があります。

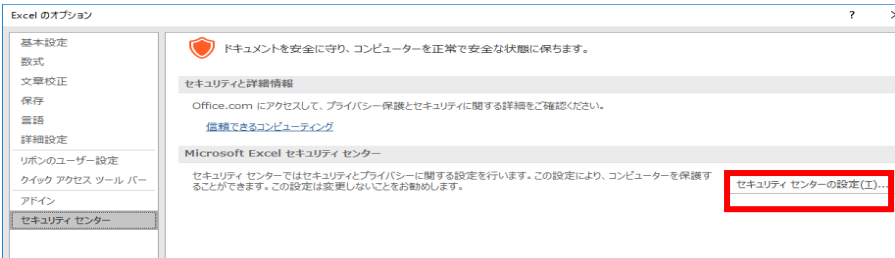
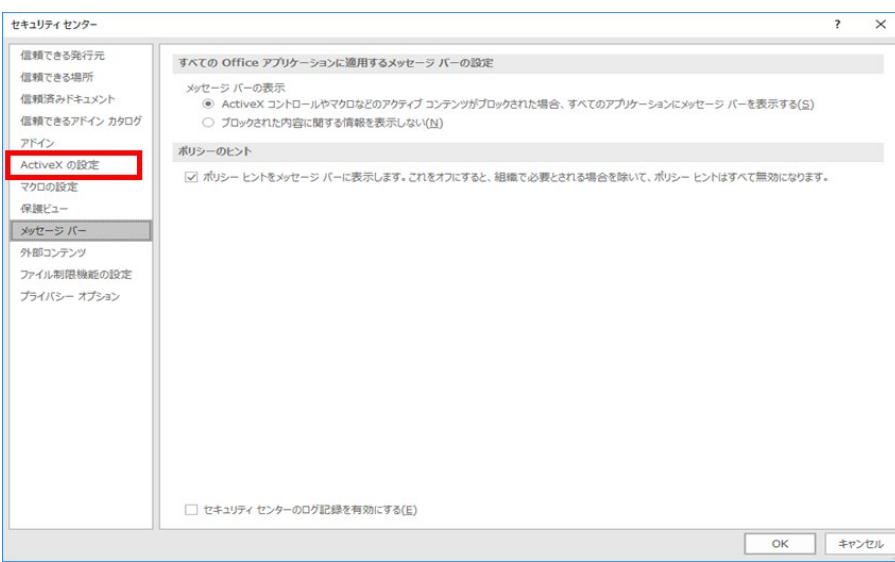
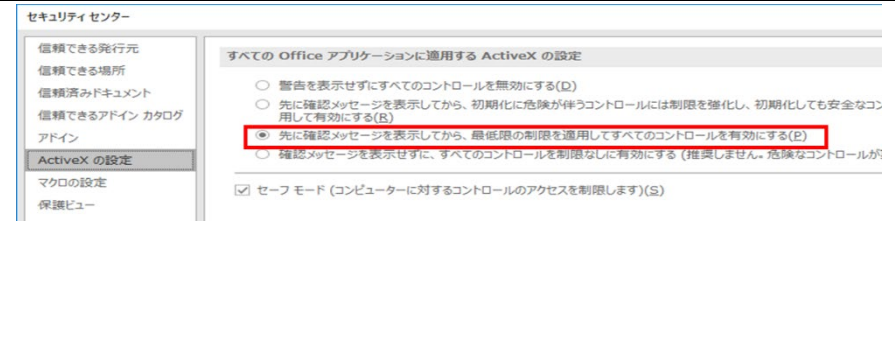
 保護されたビュー このファイルは、インターネット上の場所から取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。  編集を有効にする(E)

本警告メッセージが表示された状態では機能が無効化されておりますので、「編集を有効にする (E)」をクリックしてからツールを使用してください。

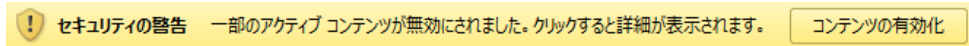
上記手順および「資料1：Excel マクロの設定変更方法」を実施したうえで、「振込依頼書作成ツール」を起動してください。

2. 設定変更手順 (その2)

項番	手順	画面
1	Excel を起動する	
2	「ファイル」を選択する	
3	「オプション」を選択する。	
4	「セキュリティセンター」を選択する。	

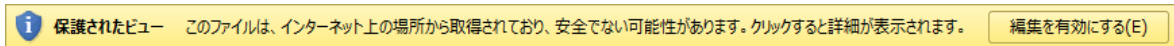
項番	手順	画面
5	「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックする。	 <p>Excel のオプション</p> <p>ドキュメントを安全に守り、コンピューターを正常で安全な状態に保ちます。</p> <p>セキュリティと詳細情報</p> <p>Office.com にアクセスして、プライバシー保護とセキュリティに関する詳細をご確認ください。</p> <p>信頼できるコンピューティング</p> <p>Microsoft Excel セキュリティ センター</p> <p>セキュリティ センターではセキュリティとプライバシーに関する設定を行います。この設定により、コンピューターを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします。</p> <p>セキュリティセンターの設定(I)...</p>
6	「ActiveX の設定」を選択する	 <p>セキュリティ センター</p> <p>信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー メッセージ バー 外部コンテンツ ファイル制限機能の設定 プライバシー オプション</p> <p>すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定</p> <p>メッセージ バーの表示</p> <p><input checked="" type="radio"/> ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S)</p> <p><input type="radio"/> ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)</p> <p>ポリシーのヒント</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。</p> <p><input type="checkbox"/> セキュリティ センターのログ記録を有効にする(E)</p> <p>OK キャンセル</p>
7	「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」を選択し、「OK」ボタンをクリックする。	 <p>セキュリティ センター</p> <p>信頼できる発行元 信頼できる場所 信頼済みドキュメント 信頼できるアドイン カタログ アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ビュー</p> <p>すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定</p> <p><input type="radio"/> 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)</p> <p><input type="radio"/> 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコン用に有効にする(B)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 先の確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(E)</p> <p><input type="radio"/> 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)</p>
8	Excel を閉じる	<p>開いている全てのエクセルファイルを閉じる。</p> <p>※全てのエクセルファイルを閉じることで変更した設定内容が有効になります。</p>

マクロ・ActiveX コントロールの設定を正しく実施すると、ツール起動時に以下のような警告メッセージが表示される場合があります。



本警告メッセージが表示された場合は、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

インターネット上からダウンロードしてツールを取得した場合も、以下のような警告メッセージが表示される場合があります。



本警告メッセージが表示された状態では機能が無効化されておりますので、「編集を有効にする (E)」をクリックしてからツールを使用してください。

上記手順および「資料 1 : Excel マクロの設定変更方法」を実施したうえで、「振込依頼書作成ツール」を起動してください。

以 上